

平成24年2月20日

東京電力株式会社 総務部 御中

## 要 望 書

(社) 東日本プラスチック製品工業協会  
(社) 神奈川県プラスチック工業会

我々はプラスチック製品製造業に関わる中小企業の総意として、この度貴社より個別企業毎に提示された電力料金の一方向的な値上げの通知に対し、憤りを覚えつつ、値上げの大幅な圧縮の努力と中小企業への特別な配慮を強く要望するものである。

我が国産業の重要分野を占める石油化学産業、なかでもプラスチック製品製造業は2万2千社の中小企業により構成されており、その雇用は46万人を擁して、自動車、電気、容器、家庭用品等広範な業種にまたがる製品、部品作りの中心的な役割を果たしている。

その製造工場においては、24時間、成形機械設備を動かしており、他業種工場に比べてより多くの電力を使っている。今回の一方向的な電力料金の値上げがなされた場合、大幅なコストアップとなる。

さらに昨今の超円高下では、コストアップ分の価格転嫁を受注先へお願いしても、受注先自身も電力料金が上がっており、価格転嫁は不可能な状況にある。

以上のことから、値上げの大幅な圧縮の努力と中小企業への特別な配慮を強く要望する。

以 上